

山行報告書

京都田辺山友会

報告者: 森田

山名	学能堂山	山行名	例会山行
ルート	杉平バス停 → 杉平峠 → 学能堂山 → 杉平峠 → 杉平バス停		
山行日	2025年6月7日	天候	晴
参加者	CL: 木田 SL: 森田 男性: 平尾 女性: 伊藤、藤本、和田、多田、田中(深)、川田(真)、木南 男性: 2名 女性: 8名 合計: 10名		

ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時:分	地名		時:分
	杉平バス停	集		杉平峠	着	13:00
		発	9:35		発	13:03
	山道分岐	着	9:50	山道分岐	着	13:55
		発	9:50		発	13:55
杉平峠	着	11:15	杉平バス停	着	14:20	
	発	11:18		発		
学能堂山	着	11:40		着		
	発	12:35		発		

[山行報告]

午前6:30 新田辺駅から KさんとFさんの車2台に分乗し、三重県と奈良県の県境 高見山地に属する学能堂山(標高 1021m)登山口に向う。今回の目的、ベニバナヤマシャクヤクの花に出会うことが出来るだろうか。

山行計画では、美杉町の杉平バス停から入山し、学能堂山へ登り上末上村バス停下山のコースだったが、車を下山場所まで配車する必要があり、皆で話し合い 杉平から学能堂山のピストンに変更となった。 準備体操を済ませ、9:35 杉平から入山し清々しい沢の音を聞きながら時折カッコーの鳴き声を耳にして山道を進む。 まず白いうつぎの花に迎えられた。

登り始めて 40 分後、林道終点近く 右側山手にかがんで何かに見入っている人影、もしかして…。 ベニバナヤマシャクヤクの花を見つけることができた。 愛と幸福の象徴とされ又「高潔」や「品位」と言う花言葉があるらしい。スマホやカメラに収めて、咲いている花に見入った。 近くの林道脇には 見頃の小紫陽花、モミジイチゴの実、余程注意していないと見過ごしてしまうくらい小さいイナモリソウの花も咲いていた。 杉平峠から学能堂山山頂へ、11:40 ほぼ予定通りの到着。

学能堂山山頂は360度の絶景、山並みが重なり美しい。三峰山、高見山、尼ヶ岳と教えてもらう。皆、展望を楽しんでいる。 山頂付近でもベニバナヤマシャクヤクの蕾、花を見る事が出来た。 写真撮影の後、昼食休憩をとり下山を始める。 登山道狭く、こんなに急だったかなと思いつつ下山する。 花や木に詳しく、丁寧に教えて下さる H さんや I さんに質問せぬ。 お目当てのベニバナヤマシャクヤクだけでなく、多くの花に出会う事ができ、山頂では連なる山々の絶景を楽しみ、記憶に残る山行だった。14:22 全員無事に下山できた。

下山後、F さんの車に乗せてもらった 4 名は、ニュースになっていた御杖村の「1 億円トイレ」を見学して帰路についた。

初めての SL で皆様に助けいただき感謝しています。

ありがとうございました。

距離: 7.5km 上り下り: 714m

ヒヤリハット: なし

【感想文】

伊藤

何十年も昔のことだが、一枚の絵葉書にとっても心惹かれた。前田真三という写真家のヤマシャクヤクの写真だった。蕾が開いたばかりの白い花が、ポッと明かりが灯ったように輝いている。何と清らかな花だろう、いつかこの花を見たいと思いつけていた。その絵葉書はとっくになくなってしまったが、ヤマシャクヤクの姿だけは鮮明に覚えている。

滋賀の横山岳に咲くと知ったが、出会えなかった。山友会の春山・大山の脇道を登っていて思いがけず遠目に見かけた。ヤマシャクヤクだ、と思ったが近づくことも出来なかった。

今回の学能堂山例会でベニバナヤマシャクヤクを間近に見ることができ、長年思い続けていた人にやっと会えたような感激を味わった。一重の花びらが清楚だけれどもピンクの色が華やかでもあり、群生するほどではなくそこそこに静かに佇んでいる風情が控え目で好ましい。咲いてくれてありがとうとつぶやきたくなる。CLさん、素敵な企画をありがとうございました。

【感想文】

田中(深)

ベニバナヤマシャクヤクに出会えるかと期待に胸を膨らませ、学能堂山(がくのうどうやま)目指し登りました。途中までのなだらかな林道の脇道斜面に「ベニバナヤマシャクヤク」発見！ひっそり清楚に、綺麗な濃いピンクの花びらの中の雌しべ、雄しべまでが色鮮やかで自然の造形美に感激し、皆でシャッターを切りました。林道傍にはモミジイチゴ(Iさんから食べられると教えてもらって食べたら甘酸っぱくて美味しかったです)、コアジサイ、ウツギ、イナモリソウ、スイカズラ、ハナイカダと花の名前も詳しいHさんに沢山教わりながら今回で沢山覚えました。歩きやすい山道と思っていたのは最初のうちだけで、段々急登になり花どころではなくなって頑張っ頂上に到着！周りの山がぐるりと見渡せる眺望の良い山頂で、近畿のマッターホルン「高見山」、「兜山」に「鎧山」も教えてもらって写真にしっかり収めました。梅雨入り前で湿度も低く汗はいっぱいかきましたが、楽しく勉強になった山行でした。自然の中でひっそり咲く花を宝探しのように発見できた時の感動が忘れられなくて、また違う山にも行きたくくなります。計画から運転までCLのKさん、SLのMさん、お世話になりました。そして自然豊かな山にも感謝です。



ベニバナヤマシャクヤク



イナモリソウ



予想外の急登



フタリシズカ



コアジサイ

コアジサイ